

2024 年度事業報告

事業報告

1. 2024 年度優秀業績の表彰

1) 2024 年度優秀業績については慎重に検討された結果、

光武 耕太郎 氏 (埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科)

「Antimicrobial therapy and outcome of methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* endocarditis: A retrospective multicenter study in Japan」(Journal of Infection and Chemotherapy 2024 Vol. 30、No. 9 p860-6)

「Clinical characteristics and analysis of prognostic factors in methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* endocarditis: A retrospective multicenter study in Japan」(Journal of Infection and Chemotherapy 2024 Vol. 30、No. 12 p1259-65)

以上、1 件に二木賞が授与されることとなった。

朝倉 崇徳 氏 (北里大学薬学部臨床医学(生体制御学))

「Proximal and Distal Bronchioles Contribute to the Pathogenesis of Non-Cystic Fibrosis Bronchiectasis」(American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine 2024; Vol. 209 p374-89)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2) Young Challenger Award sponsored by 公益財団法人シオノギ感染症研究振興財団については慎重に検討された結果、以下 5 件に Young Challenger Award が授与されることとなった。

今井 一男氏 (埼玉医科大学臨床検査医学)

テーマ：唾液を活用した梅毒診断法の開発と梅毒トレポネーマ疫学調査

川筋 仁史 氏 (富山大学附属病院感染症科)

テーマ：将来の新興感染症に応用しうる濾紙乾燥血液を用いた免疫獲得状況迅速評価の研究

福島伸乃介 氏 (岡山大学 感染症内科・病原細菌学)

テーマ：日本紅斑熱好発地域におけるヒト吸血ダニの疫学調査とダニ媒介感染症発症リスクの層別化の実現

Wannigam Dhammika Leshan 氏 (山形県立中央病院)

テーマ：低中所得国における効果的な新興感染症の疫学的監視システムの構築

坪井 基行 氏 (国立健康危機管理研究機構国際医療協力局)

テーマ：ラオス人民民主共和国全国を対象としたワクチンコールドチェーン温度管理状況の評価研究

2. 講演会

令和 6 年 6 月 27 日～6 月 29 日、第 98 回学術講演会を飯沼由嗣会長のもと第 72 回日本化学療法学会学術集会 (迎寛会長) と合同開催として神戸国際会議場、神戸国際展示場 1 号館および WEB 配信で行われた。

参加人数：5,443 人

会長講演 2 題、招請講演 2 題、海外招請講演 2 題、特別講演 3 題、教育講演 25 題、特別企画 3 題、ジョイントシンポジウム 5 題、JaSA シンポジウム 1 題、シンポジウム 17 題、パネルディスカッション 10 題、ワークショップ 1 題、スポンサードシンポジウム 7 題、ランチョンセミナー 19 題、イブニングセミナー 52 題、委員会企画 3 題、委員会報告 3 題、ICD 講習会 1 題

一般演題 507 題 (口演：感染症 158 題・化療 42 題、ポスター：感染症 261 題・化療 124 題)

3. 地方会

・第 73 回東日本地方会学術集会は、令和 6 年 10 月 17 日～10 月 19 日の 3 日間、光武耕太郎会長のもとで第 71 回日本化学療法学会東日本支部総会 (木村利美会長) と合同開催として東京ドームホテルおよび WEB 配信で行われた。

特別講演 2 題、緊急企画 2 題、教育講演 14 題、シンポジウム 14 題、パネルディスカッション 1 題、若手研究者シンポジウム 1 題、ベーシックレクチャー 13 題、委員会報告 2 題、新薬シンポジウム 1 題、スポンサード教育講演 2 題、教育セミナー 13 題、アフタヌーンセミナー 2 題、スポンサードシンポジウム 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、ICD 講習会 1 題

一般演題 179 題 (感染症：107 題、化療：72 題)

参加人数 2,019 名

・第 94 回西日本地方会学術集会は八木哲也会長のもとで令和 6 年 11 月 14 日～16 日の 3 日間、第 72 回日本化学療法学会西日本支部総会 (掛屋弘会長) と合同開催で神戸国際会議場、神戸ポートピアホテルおよび WEB 配信で開催された。

会長講演 2 題、特別講演 2 題、教育講演 17 題、感染症入門講座 14 題、シンポジウム 13 題、合同シンポジウム 1 題、パネルディスカッション 7 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー、受賞講演、ICD 講習会、感染症セミナー、共催セミナー 27 題、学術奨励賞選考セッション

一般演題：362 題 (口演：感染症 151 題・化療 54 題、ポスター：感染症 17 題・化療 40 題)

参加人数 1,535 名

4. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

第98巻1号より逐次刊行した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol. 30, No. 1 より逐次刊行した。

インパクトファクター2023年度: 1.9

JIC Award 2024 (Vol. 30 No. 4 p329-336)

Tomoyuki Ishigo, *et al.*

Flowchart for predicting achieving the target area under the concentration-time curve of vancomycin in critically ill Japanese patients: A multicenter retrospective study

JIC Reviewer of the Year 2024

前田真之 先生 (昭和医科大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門)

5. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 79名

(敬称略)

浅見 貴弘	麻生 達磨	阿部静太郎	荒木 太亮	池田恵理子	石田 景子	市川 隆裕	伊藤 和広
伊藤 太一	伊藤 貴優	稲葉龍之介	井上 顕治	井上 雅史	今滝 修	大井真里奈	大塚 健悟
大塚 友貴	奥村 暢将	覺野 重毅	片山 真穂	加藤あかね	金澤 晶雄	金澤 建	川島 亮
金苗 幹典	北谷 菜	木村 賢俊	久保 赳人	熊崎 香織	倉澤 勘太	兒島 裕樹	後藤 崇夫
近藤 夏樹	酒井 勇紀	佐々木充子	佐藤 晃雅	佐藤 直行	椎木 創一	白石 直敬	白田 全弘
鈴木 康大	清家 一生	高野 知憲	滝澤あゆみ	田坂 佳資	立石 哲則	田村 久美	鶴賀 龍樹
当真 賢也	戸叶美枝子	永井 博之	長島 広相	中本 洋平	袴田真理子	幅 雄一郎	濱崎 健弥
林 雅	原田 真也	番場 祐基	平岡 知子	平林 亜希	福井 康貴	福田 悠人	堀田 貴大
馬嶋 秀考	松本 佑慈	真鍋 早季	宮崎 悠	宮本 智美	森 岳雄	山内 桃子	山口 尚希
山本 (柏原) 英里子	山本 千恵	山本 雄大	吉田 未識	吉村 文孝	力武 雄幹	渡部 晃平	

2) 更新者 309名 (令和6年1月1日現在専門医数 1,878名)

3) 指導医 72名

4) 感染症専門医認定研修施設 336施設 (ホームページ参照)

6. 保険委員会

1) 血液培養ボトルの供給量減少に伴う対応について、日本臨床微生物学会、日本臨床検査医学会と合同で声明文をHPに掲載した (2024年8月1日)。

2) 薬剤の出荷調整・供給停止・不採算等について検討した。

3) 医療事故調査・支援センターからの依頼に協力した。

7. ガイド・ガイドライン関連

1) MRSA 感染症の診療ガイドライン 2024 を刊行

2) RSV 感染症診療の手引きを公表

3) 薬剤耐性 (AMR) 治療ガイドラインを作成中

8. 学際化国際化委員会

1) 学際化

・JaSA として敗血症セミナーを3回 (2024年5月18日、9月1日、2025年1月19日) 開催

2) 国際化

・第98回日本感染症学会学術講演会

海外招請講演1 (ESCMID)、海外招請講演2 (IDSA)

9. 臨床研究促進委員会

1) 第8回日本感染症学会臨床研究促進助成 (2025年度)

受賞者: 木村賢俊 氏 (宮崎大学医学部附属病院膠原病感染症内科)

研究課題: ヤヌスキナーゼ阻害剤によるヘルペスウイルス再活性化の病態解明

2) ワークショップ開催

第98回日本感染症学会学術講演会

ワークショップ: あなたの日常診療を科学にしよう

Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -

3) レジオネラ症診断における尿中抗原検査と臨床的特徴に関する全国サーベイランス研究事業については、症例収集している。

4) COVID-19 重症化因子探索事業について、論文投稿中。

10. 検査関連

1) 感染症検査における人工知能の利用に関するステートメント (2024年4月11日)

(日本感染症学会感染症検査AI委員会)

11. インフルエンザ委員会
 - 1) 2024/25 シーズンにおけるインフルエンザワクチン接種に関する考え方とトピックス (2024 年 9 月 18 日)
 - 2) 2024/25 シーズンにおけるインフルエンザの現状と今後の見通しに関する提言 (2025 年 1 月 29 日)
12. ワクチン委員会
 - 1) 「65 歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方 (第 5 版)」 (2024 年 4 月 1 日)
 - 2) 「65 歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方 (第 6 版)」 (2024 年 9 月 6 日)
 - 3) 「COVID-19 ワクチンに関する提言 (第 9 版) -XBB. 1. 5 対応 mRNA ワクチンの任意接種について」 (2024 年 5 月 21 日)
 - 4) 「COVID-19 ワクチンに関する提言 (第 10 版) -JN. 1 対応ワクチンの任意接種を中心に-」 (2024 年 12 月 16 日)
13. 気道感染症抗菌薬適正使用委員会
 - 1) 気道感染症における抗菌薬適正使用に関する動画を HP に公開した。
 - 2) 「上気道感染症に対する抗菌薬処方に関連する因子および抗菌薬適正使用のための教育効果についての調査」結果についての論文を Antibiotics に掲載した。
14. 男女共同参画推進委員会
 - 1) 第 98 回日本感染症学会学術講演会において委員会企画「働くということの意味を考える」を開催した。
 - 2) 会員にアンケートを行った。
15. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連
 - 1) 日本化学療法学会、日本呼吸器学会と合同で「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療についての情報の up-to-date に関する要望とご提案」を 2024 年 7 月 2 日に武見敬三厚労大臣に提出した。
 - 2) 日本呼吸器学会・日本ワクチン学会と合同で「2024 年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解」を 2024 年 10 月 17 日に公開した。
 - 3) 日本化学療法学会、日本呼吸器学会と合同で「新型コロナウイルス感染症への対応および呼吸器感染症予防に関する要望書」を 2024 年 9 月 17 日に武見敬三厚労大臣に提出した。
16. 呼吸器感染症予防週間
 - 1) 日本呼吸器学会、日本化学療法学会と合同で呼吸器感染症促進委員会を立ち上げた (事務局：日本呼吸器学会)。
 - 2) 啓発ポスターを作成し、認定研修施設に送付した。
 - 3) 市民公開講座「なくそう、ふせごう 呼吸器感染症」 (2024 年 9 月 29 日、WEB 開催)
17. 四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会
皮膚科、産婦人科
18. 四学会合同事業セミナー
感染症 Up to Date 2024 (2024 年 12 月 8 日、WEB 開催)
19. ICD 制度協議会
新規認定者 51 名 有資格者数 3,168 名 (当学会推薦)

庶務報告

1. 会員数 正会員：9,944 名 賛助会員：20 件 令和 7 年 2 月 28 日現在
除名については該当者無し
2. 第 98 回日本感染症学会総会は令和 6 年 5 月 11 日、東京国際フォーラムにて行った (ハイブリッド)。
3. 令和 6 年度評議員会は令和 6 年 5 月 11 日、東京国際フォーラムにて行った (ハイブリッド)。
4. 理事会は 4 回行った。必要に応じて都度メール審議を行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会 5 回会議を行った。
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は 1 回会議を行った。
6. 学会賞選考委員会は 1 回行った。
7. 専門医関連委員会は 11 回会議を行った。
8. 男女共同参画推進委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
9. レジオネラ検討委員会関連：3 回 WEB 会議を行った。
10. 感染症クイックリファレンス作成委員会：2 回 WEB 会議を行った。
11. 感染症遺伝子検査委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
12. RSV 感染症診療の手引き作成委員会は 2 回 WEB 会議にて行った。
13. 100 周年記念誌編集委員会は 6 回 WEB 会議にて行った。
14. その他の委員会については、メール審議を行った。